



学年団だより

香川県立高松北中学校 1年団

2026.1.8

新年明けましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

「この新しい1年を、どのような年にしたいですか。自分の目標を書きましょう。」という課題を冬休みの宿題にしました。お子さんはどんなことを書いていたでしょうか。私たちもそうですが、「～したい。～する。」という目標を持つことはとても大切です。この世の中は、私たち自身が予測して観察したとおりになっていることが、よくあります。自分の思い込みのとおりに世の中を見て、行動するからです。

自分のことを「できる自分」と思っている人と、「できない自分」と思っている人では、物事の見方や取り組み方は、全く異なるでしょう。だれにでも得意・不得意はあります。でも、「苦手やけんもうええわ。」的な考え方ではなく、「苦手やけどやってみよう。できるかもしれません。いや、できるはずや。」という強い前向きな考え方をして行動している人では、自ずと結果は違ってくるのではないでしょうか。皆さんも、前向きな考え方を持ち、前向きに取り組む。勇気を出して、一步踏み出してみませんか。今後もご家庭でのご協力を、よろしくお願ひします。

1 1年 GS「自分と地域～自分の視野を広げる～」の学習

12月から1年生は福祉について学んでおり、子どもたちは、学校の近くにある四国技術研究所で「ユニバーサルデザイン歩行体験」に参加しました。車いすに乗って移動したり、アイマスクをして白杖体験をしたり、また、高齢者体験もしました。マンホールのくぼみや傾斜があるところ等、障壁があるところでは、車いすでは、かなり通行しにくいことを知りました。また、点字ブロックの上を足の感覚と白杖を頼りに、歩いてみると、怖くて前へ進めませんでした。高齢者体験では、腰が伸びず、目も耳も聞こえにくくなった状態では、段差を上り下りするだけで、不自由を感じました。体験を通じて、子どもたちは、すべての人たちが安全で安心して利用できる道路空間とはどういうものなのかが実感できたようです。**3学期は、「高齢者福祉、障がい者福祉」「ユニバーサルデザイン（福祉的な環境）」「生きがいのある人生を支えるパラスポーツ」の3つのコースに分かれて詳しく学習していきます。**2月下旬に、各コースで学んだことを学年全体の場で発表する機会を設けます。今自分にできることを考え、実践できる生徒であってほしいと思います。発表の様子は、3月の学年団だよりでお伝えします。



2 「学習の診断」について

2月10日(火)に、全県一斉に「学習の診断」が実施されます。国語、数学、社会、英語、理科を1限から5限まで通して1日で行い、**1教科50点の合計250点満点**で採点されます。このテストの結果により、学習への1年間の取組み具合を振り返ることができます。3年生になると、年間7回実施され、進路決定をするための資料の一つとして活用される、非常に重要なものです。出題範囲については、1年生の学習内容ほとんど全てとなります。範囲の広さもさることながら、学習内容も、表現する力、資料活用の力、各教科に関わる見方や考え方を問うなど、様々な形式の問題が出題されます。**最低2回は全教科について、教科書、ノート、ワークを見直せるように、計画的に進めることが大切です。**また、テスト発表日もなく、普段通りに部活動をしながら準備していかなければなりません。あと約1か月。**繰り返し覚え直し、覚えたことを書いてアウトプットして、力をつけてほしい**と思います。

3 1月の予定

1月は中学入試等の関係で、日程が以下のようになります。

- ・15日(木) 短縮4時間授業で、給食ありで13:30下校
- ・16日(金) 2時間授業、大掃除、給食なしで11:30下校
- ・23日(金) 5時間授業、給食ありで14:30頃下校

